

2012-11-30

tvk開局40周年記念 ドキュメンタリードラマ 「希望の翼～あの時、ぼくらは13歳だった～」

韓国KBSと共同制作決定！ BS局経由で日本全国と韓国で放送予定。

tvk（株式会社テレビ神奈川）では、開局40周年の記念特別番組「希望の翼～あの時、ぼくらは13歳だった～」を、大山勝美が総合監督、韓国KBSと共同で制作、日本全国と韓国で放送します。本作品は、原作が「あの時、ぼくらは13歳だった～誰も知らない日韓友好史～」（東京書籍刊）。1945年8月、第二次大戦で日本の敗戦の直前、今は北朝鮮の中学に入学したばかりの韓国人と日本人の少年二人が、出会い、およそ40年後に再会し、交流を始める個人史です。書籍のサブタイトルにあるように、個人のレベルに留まらない日韓友好の歴史物語であり、未来にはばたく日韓親善の「希望の翼」となるドラマを目指します。



■あらすじ

主役の二人は、戦争終結で別れ別れになり、北から韓国に逃れ有名な天文学者になっていた韓国人と、日本に引き揚げ成人してテレビ局（テレビ神奈川）のプロデューサーになっていた日本人。

天文学者の思いは強烈だ。41年後の友好交流の導火線となる。日本統治下の当時、学校教育の場での朝鮮語は禁止されていた。ある時、クラスで喧嘩が始まり、少年は咄嗟に朝鮮語で「やめろ」と言ってしまう、いじめにあった。その時、日本人少年は、「朝鮮人が朝鮮語をしゃべって何が悪い」と止めにはいった。たったそれだけのことだった。でも、天文学者は「その時、頭では日本人になろうと思っていたが体は朝鮮人だと叫んでいた。その二つに引き裂かれ、苦しかった。そんな時、君の言葉が、僕は朝鮮人でいいんだって、勇気と誇り、自信を与えてくれた」。

天文学者は「何としても再会して、お礼を言いたい」と、2年がかりで探し当てた。41年ぶりの再会をきっかけに、友好交流の輪は大きく広がる。日本のプロデューサーは自らが所属する大学OBの男声合唱団のソウル公演を、天文学者の協力のもとで成功させる。当時の韓国は段階的に日本文化の開放に向っていたが、日本文化開放を韓国政府が始める前のことだった。

放送日時： tvk 2013年3月2日(土) 19:00～20:54

BS局 2013年3月 放送予定

韓国 KBS 2013年 放送予定

番組名：「希望の翼～あの時、ぼくらは13歳だった～」

出演： 国広富之、金淳次(キム・スンチャ)、

黒田福美、木村友治、吉永祐希

総合監督： 大山勝美 監督：福本義人

原作：寒河江正、羅逸星

HP： <http://www.tvk-yokohama.com/tsubasa/>

※BS局での放送については、現在、調整中で、年内には詳細を発表する予定です。

